

オホーツクIT・ロボット農業実践セミナー開催要領

1 趣旨

GPS ガイダンスシステムやオートパイロット技術は既に多くの生産者が実作業の効率化や作業負荷軽減に役立つことを実感し、生産者自らの判断による自主的な導入も一部で進められています。農水省もIT・ロボット導入実証事業推進のための補正予算を組み、こうした動きを支援しており、今後の導入にも拍車がかかることでしょう。

これらの技術導入が人と機械の置き換えであれば地域は殺風景なものになってしまうと思われませんが、作業の記録を知恵に変えたり、生産物の品質や価値を向上させるのもITの得意とするところです。生産者が導入のメリットを享受しつつ、地域に人が集い、発展する絵姿を考えてみたいとセミナーを企画いたしました。

2 開催日時

平成27年6月16日（火）13：30～16：30

3 開催場所

北見芸術文化ホール（北海道北見市泉町1丁目3-22 TEL 0157-31-0909）

4 主 催

オホーツク総合振興局
網走農業改良普及センター
地方独立行政法人北海道立総合研究機構北見農業試験場

5 後 援（順不同）

オホーツク管内指導農業士・農業士会
北見市
きたみらい農業協同組合
常呂町農業協同組合
北海道農業協同組合中央会北見支所
ホクレン農業協同組合連合会北見支所
株式会社イソップアグリシステム
株式会社システムサプライ
株式会社トプコン
株式会社ニコン・トリンプル
株式会社岩崎
ジオサーフ株式会社
株式会社IHIスター
エム・エス・ケー農業機械株式会社
株式会社キセキ北海道
株式会社北海道クボタ
スガノ農機株式会社
日本ニューホランド株式会社
ヤンマーアグリジャパン株式会社
株式会社農業情報設計社

6 参集範囲

オホーツク管内農業者、北海道指導農業士・北海道農業士、市町村、農業協同組合、中央会北見支所、ホクレン北見支所、研究機関、企業関係者、オホーツク総合振興局、網走農業改良普及センター、道総研北見農業試験場 等

7 日 程

◇開 会 13:30~13:40

開会挨拶

◇IT関連の情勢報告 13:40~13:50 (10分)

北海道農政部生産振興局技術普及課 主査 (ICT農業) 高橋正視氏

◇基調講演 I 13:50~14:50 (60分)

ロボット農業の意義と展望(仮題)

水稲、畑作への導入効果と酪農への展開

北海道大学大学院農学研究院 教授 野口 伸氏

休憩 (14:50~15:00)

◇事例報告 1 15:00~15:30 (30分)

地域の力をトランスポーターで引き出すには(仮題)

ドイツのトランスポーターファームとオホーツク地域農業

(地独) 北海道立総合研究機構中央農業試験場 主査 (機械) 鈴木 剛氏

◇事例報告 2 15:30~15:50 (20分)

IT導入と地域振興(仮題) ロボットコンバインと地域振興

(株)イソップアグリシステム 取締役 精密農業プロジェクトマネージャー 馬渡智昭氏

◇事例報告 3 15:50~16:10 (20分)

新技術 欠株補正機能付きポテトプランタの開発(仮題)

(有) トップアグリ 代表取締役 (北海道指導農業士) 村上寛貢氏

◇試験研究報告 16:10~16:30 (20分)

センサ情報をどう使うか?蓄積された圃場情報の活用法

(地独) 北海道立総合研究機構十勝農業試験場 研究主任 原 圭祐氏

◇閉 会 16:30

閉会挨拶

8 参加費 無料